

国土形成計画(全国計画)について

平成20年7月4日閣議決定

新しい国土像

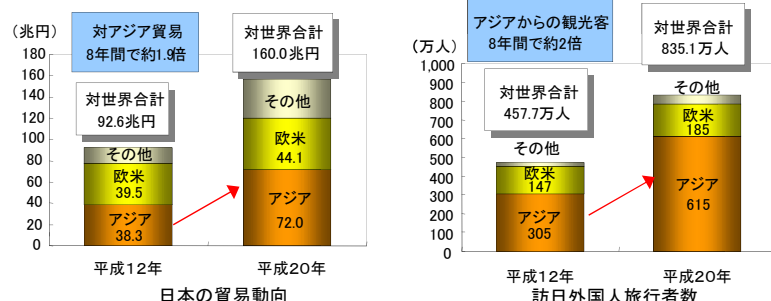
多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る

新しい国土像実現のための戦略的目標

＜グローバル化や人口減少に対応する国土の形成＞

東アジアとの円滑な交流・連携

広域ブロックが東アジアの各地域と直接交流・連携し、アジアの成長のダイナミズムを取り込んでいく



持続可能な地域の形成

人口減少下においても、地域力(地域の総合力)の結集、地域間の交流・連携により、魅力的で質の高い生活環境を維持していく

＜安全で美しい国土の再構築と継承＞

災害に強いしなやかな国土の形成

減災の観点も重視した災害対策や災害に強い国土構造への再構築を進め、安全で安心した生活を保障していく

美しい国土の管理と継承

美しい国土を守り、次世代へと継承するため、国土を形づくる各種資源を適切に管理、回復



＜4つの戦略的目標を推進するための横断的視点＞

「新たな公」を基軸とする地域づくり

多様な主体の参画を、地域の課題の解決やきめ細かなサービスの供給につなげる

従来の私の領域で
公共的価値を含む活動



空き店舗を託児所を活用した
中心市街地活性化(高知市)

公と私の中間的な領域を
新たに担う活動



NPO等による過疎地有償
運送(長野県中川村)

従来の公の領域で
民間が主体的に担う活動



市民との協働による河川敷
の清掃活動(熊本県白川)

国土形成計画(広域地方計画)について

平成21年8月4日国土交通大臣決定

計画期間は、21世紀前半期を展望しつつ今後概ね10年間

国土形成計画の体系

全国計画

第1部 基本的考え方

第2部 分野別施策

第3部 広域地方計画の策定・推進

独自性のある計画策定に向けて検討すべき事項等

基本とする

ブロック毎の
独自性ある地域戦略

広域地方計画

・国土の形成に関する方針・目標

・広域の見地から必要と認められる主要な施策に関する事項(プロジェクト)

計画の推進

○計画に位置づけられた各プロジェクトについて、それぞれの主体が取り組みを実施

○毎年度、計画の推進状況を把握検証し、更なる推進に向けた課題への対応等について検討を行う「モニタリング」を実施し、計画の実行性を担保

広域地方計画のプロジェクトの例

《ものづくり産業の競争力強化/次世代産業のイノベーションプロジェクト(中部圏)》

[海外からの企業誘致・技術交流等]

- グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ等による中部圏の産業集積のブランド化と価値発信による海外企業の進出誘致
- アジアの国・地域との経済パートナーシップの構築

[研究開発中枢拠点の充実・高度人材の育成]

- シンクロトロン光研究やインキュベーション推進のための「知の拠点」(研究開発拠点)の整備
- 県営名古屋空港周辺におけるJAXAの航空機研究開発拠点の整備

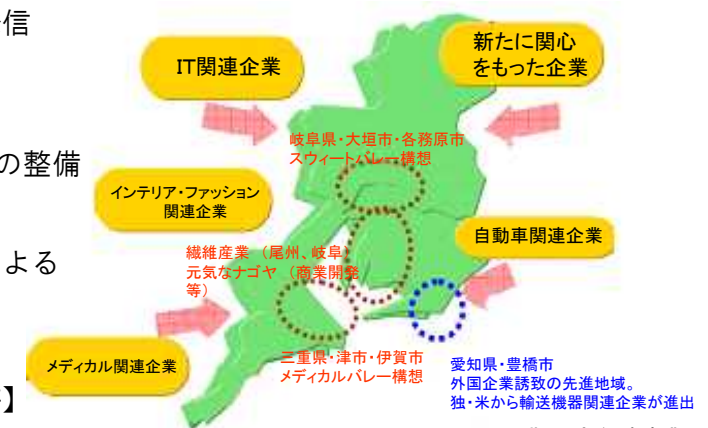
[産学官連携体制の強化・ネットワークの形成]

- 高機能デバイス、光技術、健康・食品等に特化した産業クラスターや知的クラスターによるイノベーションの誘発

[産業用地・交通網・物流拠点の形成]

- 臨海部や中央自動車道沿線等における利便性が高い産業用地の整備・供給
【東海環状自動車道等】
- 国際空港へのアクセスに優れた中部臨空都市等における物流拠点の整備

海外企業との経済交流のイメージ



出典: 中部経済産業局HP